

# マンスリータイムズ

和歌山県立新宮高等学校  
平成27年度(2016年)3月版

## 第68回 卒業証書授与式

～ 大切なことは行動すること・4つの願い ～

3月1日(火)に、第68回卒業証書授与式を挙行了しました。長いようであつという間の3年間、本校で仲間と共に汗を流し、学び、成長を遂げた生徒198名が、数々の思い出とそれぞれの希望を胸に、新たなステージへと学窓を巣立ちました。

畑校長は式辞で、「高く大きな目標を掲げ、たゆむことなく地道に学び続ける人生を歩んで欲しい。一番大切なのは行動すること」と述べ、4つの願いとして、「今日にいたるまで、周りの支えたあつたことを忘れないで」「これからも学び続けて」「社会に広く目を向けて」「新宮、熊野について知り続けて」と求めた。これからも学び続けることを忘れず、次世代のリーダーとなり、社会に貢献できる人として活躍することを期待しております。ご卒業おめでとうございます。

## 姉妹校訪問団 結団式

～ 台湾國立彰化女子高級中學を訪問 ～

3月6日(日)～9日(水)の日程で台湾を訪問する生徒19名の結団式が行われた。この交流は、本校の教育目標である「知・徳・体バランスのとれた人間形成」・「地域社会に積極的に貢献する人材、次代の日本社会・国際社会で活躍できるリーダーの育成」を図るために、姉妹校交流やホームステイ等様々な異文化体験をつむことで、日本や郷土を再認識し、豊かな教養と人間性、社会性を身につけた次代を担うバランスのとれた人材を育成することを目的としている。

結団式では、同行する畑校長が「中国語が話せなくても英語や身ぶり手ぶりなどを使って積極的に交流することが大切である。楽しい研修旅行にしましょう。」と挨拶。引率の宮井貴浩教諭は「新宮高校だけでなく日本の高校生の代表として恥ずかしくない行動をとって欲しい。」と呼びかけ、同中學に贈る記念品の内容などを伝えた。また、生徒たちは2、3人の班ごとに同中學の生徒宅へホームステイするため、一緒に行動する仲間や病院などの連絡先を確認した。

～ 生徒がオリジナルガイドブック ～

3月14日(月)に、2学年が実用英語の授業の一環として作った英語のガイドブックの発表会を行なった。このガイドブックはアメリカワシントン州のLiberty High Schoolに送る予定で、新宮・東牟婁地方の名所や祭り、飲食店などを紹介する内容となっている。

Liberty High Schoolとは、2014年に国際交流基金主催のかけはしプロジェクトをきっかけに交流が始まり、それ以降、両校生徒間で定期的にはがきを交換して交流を深めてきた。本年度は、絵はがきではなくオリジナルのガイドブックを作成し、自分たちの住む地域の魅力を紹介する形をとり、イラストや写真、地図、折り紙などを使い、全て英語でまとめられている。

今回の発表では、担当のペアが打ち合わせ後、一組ずつ前に出て、作成したページを読み上げて紹介した。

## 進路別アゼンブリー

～ 3年生が経験をもとに2年生へ ～

3月16日(水)に2学年対象進路別アゼンブリーを実施した。

これは、今年大学入試などに合格した3年生が、自らの体験を踏まえて、受験までに取り組むべきことを2年生に助言し、受験を控えた新3年生の進路実現に役立てることを目的としている。今回のアゼンブリーは、2年生の希望進路別に6つの講座に分けて実施。高校生活で力を入れたことや志望にいたる経緯、受験対策について、経験をもとに3年生が熱く語った。

～ 新たな学年での飛躍を！ ～

3月24日(木)に、平成27年度後期終業式および

修了式を挙行了した。式辞で畑校長は、「本年度の学習状況においては全般的に努力がみられ、英検や漢検の取得者が増加している。春休みは旧から新への転換の時である。次の目標を定めて進み続けることが、充実した高校生活を送るカギである」と述べた。また、3月初めの人工知能の活躍とホーキング博士の言葉を紹介し、「10～20年後には、現在の仕事の大半が自動化されると言われている。人工知能に人間が支配されるようになってはいけない」と危惧した。さらに重力波の発見を例に、科学者の活躍を紹介するとともに、「皆さんの中からノーベル賞の受賞者ができることを期待する」と社会に関心を持つことの重要性と併せて訴えた。まとめとして、「科学でも実業でもイノベーションを成し遂げられるよう、ハードワークして欲しい。皆さんの成長を期待している」と講話し、今年度を締めくくった。

## 後期終業式・終了式

### 4月の行事予定

- 1日(金) 新入生実力テスト
- 8日(金) 始業式・新任式
- 11日(月) 入学式・入寮式
- 21日(木) 遠足

